

1-1 子育て支援の充実

事業費 65億 625万円

財源	国のお金	25億6,564万円	施策実現のための 主な事業費	子どものための教育・保育給付費	32億4,966万円
	県のお金	14億7,309万円		児童手当給付費	10億1,749万円
	市の借金	1,130万円		福祉医療費	8億4,309万円
	その他	1億7,878万円		児童扶養手当給付費	3億7,388万円
	市のお金	22億7,744万円		その他	10億2,213万円

すべての家庭が、育てる喜びを感じながら安心して子育てができ、地域全体で子育てを支えていくまちを目指します

主な具体的取り組み事業

◆結婚新生活支援事業 (1,500万円)

夫婦ともに婚姻日における年齢が39歳以下で、一定の所得要件を満たす新たに婚姻した夫婦を対象に、婚姻に伴う引っ越し費用や住宅取得費用などを補助します。(補助額上限あり)

◆地域子育て支援拠点事業 (3,309万円)

乳幼児及びその保護者や、妊娠中の方が相互の交流を行う場所を開設し、子育てについての相談、情報の提供、助言等の支援を行います。



◆放課後児童健全育成事業 (3億527万円)

放課後や学校休業日に保護者が就労などにより家庭にいない児童を対象に、遊びや生活の場を提供します。

◆十文字保育所整備助成事業 (2,309万円)

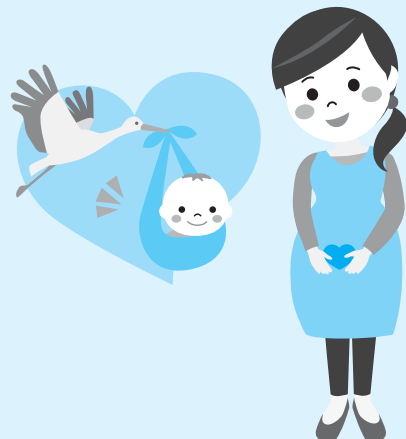
十文字保育所の大規模修繕事業に対して、社会福祉法人相和会に補助を行います。

◆子どものための教育・保育給付費 (32億4,966万円)

「子ども・子育て支援法」に基づき、保育所等に対する財政支援を行います。また、保育施設等を利用する保護者に対して保育料や副食費等の助成を行います。(所得制限あり)

◆学童保育施設環境整備事業 (2,538万円)

旧雄物川庁舎の解体に伴い、学童保育施設「にこにこキッズ雄物川Ⅲ」を移転するため、旧横手市雄物川在宅介護支援センターの改修工事を行います。



◆不妊治療費助成事業 (510万円)

不妊治療費用を助成し、不妊に悩む夫婦の経済的・精神的負担の軽減を図ります。

1-2 健康な心と体づくりの推進

事業費 38億2,813万円

財 源	国のお金	1億 610万円	施 策 実 現 の た め の 主 な 事 業 費	後期高齢者医療制度費	13億6,828万円
	県のお金	5億4,561万円		病院事業費	8億3,166万円
	市の借金			国民健康保険特別会計繰出金	8億2,403万円
	その他	2億3,523万円		予防接種事業	2億1,133万円
	市のお金	29億4,119万円		その他	5億9,283万円

市民が住み慣れた地域で健康でいきいきとした生活を送り、年齢を重ねても自分の健康に自信を持てる市民が増えていることを目指します

主な具体的取り組み事業

◆医療体制整備事業 (6,229万円)

市民に対して、休日診療・救急医療を充実向上させ、救急医療知識の普及啓発を図ります。

◆予防接種総務費 (2億1,133万円)

予防接種法に基づく定期予防接種を行い、感染、発病、重症化、感染症蔓延の防止を図ります。

◆がん検診事業 (1億6,596万円)

各種がん検診事業を実施し、早期発見、早期治療に結び付け、疾病の予防を図ります。

◆健康の駅推進事業 (2,599万円)

子どもから高齢者まで、皆さんが安全で効果的な健康づくりが実践できるよう支援します。健康運動指導のほか、健康の駅よこてトレーニングセンターの健康増進機器を一部更新します。

◆心の健康づくり総務費 (145万円)

個人のいのちの尊さを認識し、自らのいのちを失う人がいなくなるよう、心の健康づくり事業を展開し、明るく過ごせる地域づくりを図ります。

◆帰国者・接触者外来運営事業 (4,854万円)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、感染症の疑いのある方が安心して受診できる医療体制の充実を図ります。



健康の駅トレーニングセンター

1-3 健康でいきいきとした高齢社会の推進 事業費 28億3,407万円

財源	国のお金	7,988万円	施策実現のための 主な事業費	介護保険特別会計繰出金	19億4,719万円
	県のお金	6,063万円		高齢者福祉施設入所措置費	3億4,968万円
	市の借金			市営介護サービス事業特別会計繰出金	2億8,572万円
	その他	1億1,410万円		老人ホーム費	7,887万円
	市のお金	25億7,946万円		その他	1億7,261万円

横手市に暮らす誰もが、未来へ希望を抱き生きていくために家族の絆・地域の絆を深めともに支えあい、助けあう地域社会が形成されていることを目指します

主な具体的取り組み事業

- ◆雪下ろし雪寄せ支援事業 (4,161万円)
自力での間口除雪や屋根の雪下ろしが困難な世帯へ、業者をあっせんし、課税状況に応じて費用の一部を助成します。
- ◆地域密着型サービス施設等整備事業 (1,848万円)
既存高齢者施設の大規模改修にあわせてICT化の整備を行う社会福祉法人等に対し、その必要な経費を補助します。



雪下ろし支援の様子

1-4 障がい者(児)福祉の充実

事業費 24億1,309万円

財源	国のお金	11億9,832万円	施策実現のための 主な事業費	自立支援給付費	21億5,266万円
	県のお金	5億7,716万円		地域生活支援事業費	7,401万円
	市の借金			特別障がい者手当等給付事業	7,300万円
	その他	13万円		自立支援医療費給付事業	6,832万円
	市のお金	6億3,748万円		その他	4,510万円

障がいのある人もない人も互いに支え合い、協働し、すべての市民の笑顔が輝いて、いきいきと暮らしていることを目指します

主な具体的取り組み事業

- ◆自立支援給付費 (21億5,266万円)
障がいのある方が必要とする障がい福祉サービスが利用できるよう受給決定をし、適切なサービスの提供を行います。
- ◆地域生活支援事業費 (7,401万円)
障がいのある方が自立した日常生活や社会参加ができるよう、利用者の状況に応じた柔軟なサービスの提供や障がいへの理解啓発、ボランティア活動の支援を行います。

1-5 低所得者福祉の充実

事業費 13億6,639万円

財源	国のお金	8億8,943万円	施策実現のための 主な事業費	一般扶助費	10億4,055万円
	県のお金	938万円		公営住宅整備費	1億2,848万円
	市の借金	8,420万円		公営住宅管理費	1億 599万円
	その他	9,409万円		施設事務費	5,029万円
	市のお金	2億8,929万円		その他	4,108万円

住宅の確保が困難になるなどの生活困窮に至るリスクを回避し、すべての市民が自立した生活確立して、いきいきと暮らしていることを目指します

主な具体的取り組み事業

◆生活困窮者自立促進支援事業 (2,133万円)

生活困窮者の社会的・経済的な自立に向けて、就労支援や住居確保給付金支給など様々なサービスを包括的に提供します。

◆公営住宅整備費 (1億2,848万円)

南朝日が丘住宅や大中島住宅などの市営住宅の改修工事を行います。

1-6 福祉を支える人材の確保と育成

事業費 1億8,474万円

財源	国のお金		施策実現のための 主な事業費	総務関係費	1億2,617万円
	県のお金	1,876万円		民生委員児童委員費	3,214万円
	市の借金			長寿祝金支給事業	1,352万円
	その他	42万円		敬老事業	969万円
	市のお金	1億6,556万円		その他	322万円

地域福祉活動やボランティア団体に参加する市民が増え、地域での見守りや助け合いの活動が活発に行われていることを目指します

主な具体的取り組み事業

◆地域福祉推進事業委託経費 (9,000万円)

誰もが安心して暮らせる地域社会を目指して、様々な地域福祉活動を推進します。



いきいきサロン事業の様子

2-1 横手を愛する心と生きる力を育む学校教育の充実 事業費 3億1,767万円

財源	国のお金	239万円	施策実現のための 主な事業費	学校生活サポート事業	8,535万円
	県のお金	231万円		外国語教育・国際理解教育推進事業	5,720万円
	市の借金			学校保健管理事業	4,161万円
	その他	3,204万円		奨学金貸付事業	2,261万円
	市のお金	2億8,093万円		その他	1億1,090万円

ふるさと横手を愛し、学ぶ意欲にあふれ、確かな学力を身に付けた児童生徒が健やかに成長していることを目指します

主な具体的取り組み事業

◆外国語教育・国際理解教育推進事業 (5,720万円)

「令和の日本型学校教育」を実現する新学習指導要領が、小学校では昨年度から、中学校では今年度から全面実施となりました。小学校3・4年生では外国語活動を、5年生からは教科としての外国語を学びます。国際理解と英語によるコミュニケーション能力の育成を図るため、外国語指導助手(A L T)を小・中学校に派遣します。



ALTによる外国語指導の様子

◆学校生活サポート事業 (8,535万円)

市内小・中学校に支援員を配置し、一人一人の教育的ニーズに応じたきめ細かな支援を行うことを目的としています。支援員には、発達障害等の特性に応じた支援を行う「特別支援教育支援員」、外国人の子どもたちに日本語の指導を行う「日本語指導支援員」、医療的ケアを必要とする子どもに対する「看護師」がおり、子どもたちが笑顔で生き生きと学校生活を送ることができるよう支援しています。

2-2 安全で安心して学べる教育環境の整備 事業費 16億8,276万円

財源	国のお金	144万円	施策実現のための 主な事業費	学校給食事業	4億8,548万円
	県のお金			小学校管理費	2億8,139万円
	市の借金	2億1,880万円		小学校長寿命化対策事業	2億3,499万円
	その他	3億3,199万円		スクールバス運行事業	1億7,155万円
	市のお金	11億3,053万円		その他	5億 935万円

児童生徒が、未来の横手市を担って新しい時代を生き抜く力を身に付けるため、個性を生かして多様な人々と協働しながら学習することができる、安全で安心な教育環境が整備されていることを目指します

主な具体的取り組み事業

◆スクールバス運行事業 (1億7,155万円)

児童・生徒の遠距離通学における通学手段の確保と、校外授業などのためにスクールバスを運行します。また、老朽化に伴いスクールバスを2台更新します。

◆小中学校ICT環境整備事業 (2,177万円)

児童・生徒の情報活用能力の育成、ICTを効率的に活用した「分かりやすく深まる授業」の実現のため、大型提示装置の導入を行います。

◆小学校長寿命化対策事業 (2億3,499万円)

児童が安全・安心な環境で教育を受けられるように施設環境の充実を図るため改修工事を行います。

01 ピックアップ

小・中学校に教育 ICT 環境が整備されます

1人1台端末と高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、子どもたち一人一人の資質・能力をより効果的に育成するための教育 ICT 環境を実現します。

	整備前		整備後
一斉学習	電子黒板等を用いて教師から子どもたちへ説明する一方向型の一斉授業を行う	学びの深化 学びの転換	子どもたち一人一人の学習状況をリアルタイムにモニタリングし、反応を踏まえた双方向型の授業が可能になる
個別学習	紙の教材等で全員が同時に同じ内容を学習する		デジタル教材等を活用し、各自が同時に別々の内容を学習でき、学習状況に応じた個別学習が可能になる
協働学習	グループ発表ならば可能だが、自分独自の意見は発信しにくい		Web 検索等で一人一人が独自の視点で情報を収集し、グループ内で即時に共有・編集が可能になる

1人1台端末は、鉛筆やノートのような文房具として、今後様々な学習場面で活用していきます。

横手市では子どもたちが日常的に安全に使える端末として、iPad(第7世代)、衝撃吸収ケース、キーボード、タッチペンを整備しています。



2-3 元気なまちを築く生涯スポーツの促進

事業費 3億9,734万円

財源	国のお金		施策実現のための 主な事業費	屋外体育施設費	
	県のお金				1億8,982万円
市の借金	1億	90万円	屋内体育施設費	1億 199万円	
その他		1,287万円	体育施設総務費	4,980万円	
市のお金	2億8,357万円		東京2020オリンピック事業	1,697万円	
			その他	3,876万円	

市民一人ひとりがスポーツを通して、心と身体を豊かにし、健康で活力ある生活を送っていることを目指します

主な具体的取り組み事業

- ◆競技スポーツパワーアップ事業 (874万円)
スポーツ競技力の向上を目的とした各競技大会の開催や、トップアスリートを講師に迎え小中高生を対象としたスポーツクリニックなどを開催します。
- ◆天下森スキー場整備事業 (1,843万円)
天下森スキー場の整備に伴う全体計画の作成とペアリフト点検整備を行います。



天下森スキー場

2-4 心を豊かにする生涯学習の推進

事業費 3億6,176万円

財源	国のお金	1,075万円	施策実現のための 主な事業費	増田まんが美術館費	1億1,455万円
	県のお金	242万円		図書館費	7,318万円
	市の借金			公民館費	6,879万円
	その他	1,409万円		生涯学習施設費	4,380万円
	市のお金	3億3,450万円		その他	6,144万円

多様な生涯学習の機会が提供され、市民が「いつでも」「どこでも」「だれでも」「なんでも」学べるとともに、優れた芸術文化に親しむことができ、また、より良い読書環境が整えられ、市民が自らの考えで行動し、人生を楽しんでいることを目指します

主な具体的取り組み事業

◆生涯学習推進事業 (506万円)

学校・家庭・地域の連携・協働により、地域全体で未来を担う子ども達の成長を支えていく活動を推進します。コミュニティ・スクールを導入するため、モデル校を指定し、地域とともにある学校づくりを推進します。

◆芸術文化推進事業費 (253万円)

子どもから大人まで本物の芸術に触れる機会の提供や発表の機会の確保を図るとともに、公共ホール音楽活性化事業「おんかつ」を実施します。

◆増田まんが美術館費 (1億1,455万円)

横手市増田まんが美術館を中心に、マンガを活用したまちづくり事業を展開していきます。



特別企画展の様子

2-5 よこての伝統文化の継承と再発見

事業費 1億5,775万円

財源	国のお金	3,943万円	施策実現のための 主な事業費	重要伝統的建造物群保存事業	5,083万円
	県のお金	4,097万円		埋蔵文化財発掘調査事業	4,910万円
	市の借金	810万円		資料館費	2,268万円
	その他	59万円		歴史まちづくり事業	1,731万円
	市のお金	6,866万円		その他	1,783万円

市民が地域の歴史や文化を身近に感じ、横手に誇りを持って暮らしていることを目指します

主な具体的取り組み事業

◆重要伝統的建造物群保存事業 (5,083万円)

保存地区において、伝統的建造物等の修理・修景事業を実施します。また、保存団体や伝統的建造物公開活用への支援などを行います。

◆埋蔵文化財発掘調査事業 (4,910万円)

浅舞北部地区の県営ほ場整備事業に伴う遺跡分布調査や試掘・確認調査を行います。また、昨年度に引き、金沢柵特定のため金沢城跡西麓部の内容確認調査を行います。



発掘作業の様子

3-1 安心して暮らすことのできるまちづくりの推進 事業費 6,755万円

財源	国のお金	377万円	施策実現のための 主な事業費	交通安全対策事業	2,020万円
	県のお金	37万円		交通安全施設整備費	2,016万円
	市の借金			老朽危険空き家対策事業	1,385万円
	その他	39万円		市民相談事業	786万円
	市のお金	6,302万円		その他	548万円

事故や犯罪、消費者が巻き込まれる悪質商法や特殊詐欺等の被害が減少し、市民がお互いに助け合いながら、安心して生活を送ることができ、必要な時には専門的な相談が受けられ、問題の解決に結びつく方法を速やかに見出すことができることを目指します

主な具体的取り組み事業

◆交通安全対策事業 (2,020万円)

交通安全意識の高揚を図るため、関係機関、団体と連携し、交通安全教育や交通安全運動を実施します。また交通秩序の保持、交通事故防止のため交通指導隊の活動を支援し、交通安全対策を推進します。

◆老朽危険空き家対策事業 (1,385万円)

第2期空家等対策計画に基づき、空き家の予防、適正管理、利活用を推進し、老朽化して危険な空き家への対策を行います。



3-2 美しい自然環境と快適な生活環境の保全 事業費 4億122万円

財源	国のお金	1,310万円	施策実現のための 主な事業費	衛生センター費	1億8,401万円
	県のお金	5,293万円		斎場施設費	6,736万円
	市の借金	8,260万円		水と緑の森づくり事業	4,162万円
	その他	3,761万円		西部斎場整備事業	3,836万円
	市のお金	2億1,498万円		その他	6,987万円

水と緑と人が共生し、多様な生態系が保全され希少な生物が生息し、まちの美観は損なわれることなく、河川などの豊かな自然環境が市民にやすらぎの場となるなど、快適な生活環境が実感できることを目指します

主な具体的取り組み事業

◆環境保全管理総務費 (113万円)

横手市環境保全条例に基づき設置している環境保全審議会の活動や、市環境基本計画の環境保全事業を行います。

◆環境美化推進事業 (1,005万円)

環境美化推進員を登録しごみ集積所の管理、各種クリーンアップの実施、花木植栽の支援をします。市内全域では約900名の環境美化推進員が市と連携しながら活躍しています。

◆西部斎場整備事業 (3,836万円)

老朽化した西部斎場建替えのため、建築設計、測量調査、地質調査などを行い、令和4年度以降の建設工事に向けた準備を進めます。



クリーンアップの様子

3-3 災害に強いまちづくりの推進

事業費 6億 1,527万円

財源	国のお金	2,420万円	施策実現のための 主な事業費	非常備消防経費	1億4,460万円
	県のお金	95万円		常備消防施設等整備事業	1億3,593万円
	市の借金	1億8,700万円		常備消防経費	1億1,275万円
	その他	520万円		消防施設整備事業	8,081万円
	市のお金	3億9,792万円		その他	1億4,118万円

消防や救急体制がより充実し、防災等に関する地域の取り組みが活発に行われ、安全・安心に暮らせるまちづくりが進んでいることを目指します

主な具体的取り組み事業

◆避難行動要支援者名簿整備事業 (689万円)

災害時に避難支援を必要とする方の名簿を整備し、一人ひとりの緊急連絡先や避難支援する者等を定めた個別計画を作成することにより、安否確認や避難支援体制を構築します。



避難支援個別計画策定の様子

◆雨水排水対策事業 (6,200万円)

浸水があった個所や、市街地の雨水排水が適切に行われるよう工事等を実施します。

◆常備消防施設等整備事業 (1億3,593万円)

消防施設の充実を図るため、消防車両更新計画に基づき、消防署タンク車と南分署高規格救急車の更新等を行います。

◆非常備消防経費 (1億4,460万円)

火災、地震、局地的な豪雨による多様な災害から市民の生命と財産を守るため、横手市消防団活動に要する被服等の貸与、出勤手当や報酬、公務災害補償に係る負担金の支払いを行います。



消防署タンク車



南分署 高規格救急車

3-4 循環型社会の一層の推進

事業費 10億2,489万円

財源	国のお金		施策実現のための 主な事業費	クリーンプラザよこて費	4億6,065万円
	県のお金			ごみ収集費	3億8,223万円
	市の借金	1,200万円		最終処分場管理運営費	9,660万円
	その他	2億9,200万円		地域資源循環施設費	6,021万円
	市のお金	7億2,089万円		その他	2,520万円

市民一人ひとりが「もったいない」を心がけたライフスタイルを取り入れ、豊かな自然と快適な地域社会の共存が実現していることを目指します

主な具体的取り組み事業

◆クリーンプラザよこて費 (4億6,065万円)

施設の運営維持管理や周辺環境調査などクリーンプラザよこての運営に関わる経費です。安全で確実なごみの焼却と焼却灰を含む資源物の有効利用を図ります。また、ごみの焼却熱で発電して場内で使用するほか、電力は市内小中学校にも供給をしています。



クリーンプラザよこて

◆地域資源循環施設費 (6,021万円)

堆肥センターなど地域資源循環施設の維持管理や運営に関わる経費です。

3-5 地球温暖化対策の推進

事業費 189万円

財源	国のお金		施策実現のための 主な事業費	地球温暖化対策事業	155万円
	県のお金			カーボンオフセット地球温暖化対策事業	34万円
	市の借金				
	その他				
	市のお金	189万円			

地域にある再生可能エネルギーが公共施設、個人住宅、事業所等において有効活用されていることを目指します

主な具体的取り組み事業

◆再生可能エネルギー設備等導入促進事業 (155万円)

「地球温暖化対策実行計画 (事務事業編)」を策定し、温室効果ガス削減のため取り組みを行います。また、再生可能エネルギー施設の導入を促進するため補助金を交付しています。

◆カーボンオフセット地球温暖化対策事業 (34万円)

地球温暖化対策としてカーボン・オフセットの普及を図ります。また、二酸化炭素を減らしたい企業などが二酸化炭素を吸収する森林整備費用の一部を負担する取り組みを推進し、横手の森林を守ります。